



やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/高桑 耐 幹事/大木健市 会報委員長/池田 弘

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: ENJOY ROTARY 絆、みんな仲良く、クラブの未来へ

本年度第37回 通算1291回 平成25年3月26日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	3/25 修正出席率
		58名	34名	64.2%	93.8%

ゲスト: 市内5高校の生徒29名、教諭6名 ビジター:(なし)

★会長あいさつ

高桑 耐会長



こんにちは。桜が例年より一週間早く咲き始めました。高校野球も始まり、この時期は、若い人たちが活躍し、若い人たちが主

役の季節だといつも感じています。

今日は、大勢の高校生の皆さんの一年間のボランティア活動の発表があり、とても楽しみにしています。

昨日、大木幹事と二人で、豊川 RC の台湾高雄市の岡山扶輪社との姉妹締結更新例会に出席させて頂きました。当クラブの国際交流事業の参考にさせて頂くために参加をさせて頂きました。現在は、5年に一度の姉妹締結の更新をされているようで、今回は岡山扶輪社の皆さんが日本に来日されての更新だそうです。5年後に更新するならば、豊川 RC が訪問をされる予定だそうです。双方の親善を深める非常に和やかな雰囲気でした。来週、当クラブも台湾から大勢来られますので、和やか雰囲気で国際親善が出来たら良いと思いますし、当日は大勢の会員のご出席を改めてお願いしたいと思います。

★幹事報告

大木健市幹事

例会臨時変更のお知らせ
被災高校生支援プロジェクトについて
高校生へ激励の色紙記入のお願い
次回の例会について

★委員会報告

雑誌広報委員会(河本圭史委員長)
ロータリーの友3月号の紹介
国際奉仕委員会(大島嗣雄委員長)
台湾の来訪歓迎会について
親睦委員会(土井昌司委員長)
春の行楽開催について

★新世代奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ

藤原規彰委員長

こんにちは。本日は、春休み中にも関わらず、また学校行事で何かとご多忙の中を各高校の先生方、生徒の皆さんには当クラブの例会にご出席頂きましてありがとうございます。



一昨年(2011)の3月11日に、東日本大震災が発生し、今年で2年が経過をしました。私も今月の初めに現地に行って参りましたが、復興とは程遠い現状を目の当たりにして参りました。このような中で、皆さんの地道な活動が現地の皆さんの力になっていると思います。これからも継続してボランティア活動に取り組んで頂きたいと思っておりますし、また、この活動が広がっていくことを願っております。

では、各校の今年度の活動について報告頂きます。よろしくお祈りいたします。

◎国府高校の活動発表



我々生徒会が後期に行ったボランティアは、赤い羽根募金、学校周辺美化ボランティア、国府の市ボランティアです。

赤い羽根募金は2日間行いました。活動の結果80,185円集まり、愛知県共同募金会豊川市支会に納入しました。この活動についての説明が不十分だったので、募金額が極端に少ないクラスもありました。期間が2日間しかなかったことも反省しています。次回は、まず1年生を対象に説明を工夫し、そのためのマニュアルも準備したいと思っています。

学校周辺美化ボランティアを12月5日に行いました。国府高校から国府駅までの区間を中心とした学校周辺の清掃をしました。反省としては、参加者の大半が部活動からの強制参加で、個人の有志の参加者があまりいなかったことです。そして、実際に清掃した場所が学校と駅の間だけで、他の生徒が通学路として使っている道路などは、全く活動が出来なかったのが残念でした。次回は、案内や応募方法を工夫し、特に個人の参加者が多くなるようにしたいです。清掃区間も今回出来なかった区間も出来たらと思っています。

2月11日に国府の市のボランティアを行いました。国府の市は、学校近くの商店街のイベントです。内容としては、イベント会場の設営や運営、そして吹奏楽部が会場で演奏をしました。参加者は、生徒会、吹奏楽部、個人有志の参加でした。反省としては、個人有志参加者が極端に少なかったのが、次回は、より多くの生徒が参加できるように呼びかけをし、地域により貢献出来るようにしたいです。生徒会としては、初参加だったので、今回の反省を活かして次回も継続して参加できるようにしたいと思います。

全体を振り返って、どの活動においても説明不足や案内の不十分のミスがあり、個人参加者が少なかったです。その点を改善して、今後はより多くの方がボランティア活動に協力できるようにしたいです。ボランティア活動の結果は、ある程度出ていると思われるので、今後も維持発展をさせて行きたいです。

◎豊川工業高校の活動発表



我がボランティア部は、1年生9人、2年生10人で活動をしています。主な活動は、子どもモノづくり教室、小学校・保

育園訪問、豊川市防災訓練、ふれあいフェスティバル出展、キャンドルナイト、その他に地域のお祭りなどのお手伝いをしています。また、その活動を通して、ホテルの里と豊川市長より感謝状を頂きました。

夏休みに小学校と保育園を訪問して、貝殻や紙に絵を書いてもらいました。その作品をキャンドルナイトで使用する、キャンドルホルダーに貼ったり、オブジェに使用させてもらいました。

豊川市の防災訓練にも参加させてもらいました。訓練では、非常食の炊き出し、防災グッズの作製、簡易トイレの設置、名簿の作成などを体験しました。

月に1度、小学校4年から6年生を対象として、プリオで行われている豊川少年少女発明クラブ主催の子どもモノづくり教室に参加させて頂き、講師の方々と一緒に子ども達にモノづくりの楽しさや楽しさを教えています。教室に参加した回数により博士号が贈られるのですが、その時に贈られる作品を私たち部員が製作をしています。1回目が旋盤で製作したコマ、2回目が電子サイコロ、3回目が溶接で作ったオブジェです。1回目が10名、2回目が3名、3回目が1名でした。

キャンドルナイトとは、年に一度、豊川市総合体育館前の広場で行うボランティア部の一大イベントです。約2,000本のキャンドルを使用して、一つの文字を描きます。昨年度は「願」という文字を描きました。この文字には、願いを叶えるために努力することで、物事を前向きに考えることができたり、毎日がかけがえのないものになるのではないかとという意味が込められています。当日は、一人一人が自分の役割を果たし、無事に「願」という文字を完成することが出来ました。それにより、部員の意識が高まり、キャンドルナイトを成功させることが出来ました。来年度の文字は「繫」に決まりました。成功させる

ことが出来るように、これから活動を頑張っ
て行きたいと思ひます。

豊川市制 70 周年行事で、豊川生涯学習フェ
スタに参加させて頂けることになり、小学生
を対象とする工作教室を行います。日頃、子
どもモノづくり教室で講師として小学生にモ
ノづくりを教えているので、緊張せずにつ
も通りに楽しくモノづくりを教えていけたら
と思ひています。来年度は、新 1 年生を迎え
ての活動となるので、新年度も部員全員で頑
張っていきたく思ひています。

◎宝陵高校の活動発表



平成 24 年
度は、4 月の
あしなが学生
募金から始ま
り、豊川リレ
ーマラソンや
豊川市平和祈
念式典、豊川

社会福祉法人などの施設や病院での夏祭りや
クリスマス会の行事などに参加しました。今
度の 3 月 31 日には、穂の国豊橋ハーフマラソ
ンの救護ボランティアの参加予定をしていま
す。今年度の活動には延べ 197 名が参加をし
ました。

今年度のボランティア活動について、生徒
の感想を Twitter でつぶやいてもらい、まとめ
てみました。

夏祭りのボランティアに参加した人の感想
です。普段触れ合う事のない様々な年代の方
と交流することが出来て良い経験になりました。
施設の方だけでなく、地域の方や子ども
達とも交流ができ、参加された方がとても楽
しそうでボランティアのやりがいを感じるこ
とが出来ました。マジックバレーの作り方を
子ども達に教えるのには苦勞しましたが、伝
え方を工夫して楽しく一緒に作る事が出来
ました。小さい子ども達やお年寄りの方と交
流でき、とても楽しかったです。今しか体験
できない屋台の手伝いをし、実習とは違う形
で、人との触れあい方を学ぶことが出来た。

マラソンのボランティアに参加した人の感
想です。知らない人でも手を振って応援して、
人っていいなと改めて感じました。最後のゴ
ールの瞬間に会場が一体となり応援してい
て地域のつながりを感じる事が出来ました。
走っている最中でも、ランナーの方が笑顔

向けてくれたり手を振ってくれたりして嬉し
かったです。様々な年齢の方に「お疲れ様で
す。」「頑張って下さい」と声を掛けてもら
い嬉しかったです。

他のボランティアに行った人の感想です。
あしなが募金に参加し、あしながについて学
ぶことが出来、多くの方に協力して頂き感謝
しました。また、パンフレットを受け取っ
てもらえず、辛い思いもしましたが、受け取
てもらえた時は、この活動に参加して良か
ったと思ひました。夏に行われたボランティ
アの報告会に参加して、他の学校の活動状
況を知ることが出来ました。それを学校での活
動の参考にしました。

活動参加全体のまとめ。この学校に入って
初めてのボランティア体験で不安もありま
したが、皆さんが優しく指導して下さいた
ので、楽しく活動することが出来ました。ボ
ランティア活動を通して、人と人とのつな
がりを感じることができ良い機会になり
ました。

全体の活動を通して、明るく笑顔で取
り組むことが出来ました。夏祭りやマラソ
ンのボランティアなど地域の人たちと関
わる機会が多くコミュニケーションの場
所を広げることが出来ました。

宝陵高校のボランティア・スピリットは 2
つあります。1 つ目は、いつでも相手の立
場になって考えることです。相手の方と話
をすることで、何を必要としているか理
解するようにしています。2 つ目は、明
るい雰囲気です。相手の方にとって私
たちの笑顔が少しでも癒しになるよう
に心がけています。この二つを実践す
るために、私たちは対話と明るさを
大切にしています。人は誰かと話を
することで、お互いを理解していま
す。最近では携帯電話のメールや SNS
など、相手を見ずに交流することが多
いです。しかし、ボランティアでは、
相手の方を目の前にして、その場の
雰囲気や状況を読み取りながら話を
します。相手が受け取るメッセージの
90%以上は、手振りや顔の表情など
の非言語的な部分だと言われていま
す。人と直接触れ合うときには、話
の内容は勿論、明るく笑顔や優しい
態度が大切です。それにより、相手
の気持ちを上手にくみ取り、こちら
の誠意やおもいを伝えることが出来
るからです。私たちは、様々な方と
接しとても良い経験をさせて頂き
ました。これまでの活動から沢山の事
を学ぶことが出来たと感じています。

◎豊川高校の活動発表



豊川高校では、ボランティア活動に力を入れていて、生徒会内でもボランティア部局を作っています。多くの活動をしていま

すが、その中の2つの活動を発表します。

一億円募金活動とは、父子家庭、母子家庭、突然の親のリストラや自営業の倒産といった私たちにはどうすることも出来ない経済的な理由で行きたい学校に行けない、今通っている学校を辞めなくてはならない、そういった人たちに年間12万円を無利子で貸し出している活動です。私立高校の学費は高いのが当たり前と思われる方も多いと思います。しかし、私立高校の学費が高いのは、授業自体にお金が掛っていると、冷暖房などの設備が整っていると、そういったことではなく、単純に国や県からの支給されている助成金の額が公立高校に比べ少ないからこういったことが起きています。更に、憲法では、教育は公平であると定められているので、私立高校と公立高校の助成金の格差の問題は、私たち高校生にとって重要な課題となっています。そこで、私たち豊川高校生徒会が積極的に募金活動を行っています。後期は、今まで3回の募金活動を行ってきました。

第1回目の活動は、1月3日に豊川稲荷の門前で行いました。当日は参拝客で賑わっていたお蔭もあって34,578円集めることが出来ました。呼びかける内容が不十分であったという反省点もありますが、全体的には成功したと思います。第2回の活動は、1月13日に豊橋中央高校の生徒会と自主活動部、高フェスの皆さんを招いて、1日研修という行事の中で行いました。「高フェス」とは、「高校フェスティバル」のことで、愛知県の私立高校の生徒会を中心とした団体の事です。高フェスの皆さんが定期的で開催している私立高校の全体会や、その他の行事には私たちも積極的に参加をしています。その会の中で、それぞれ活動を報告し合い、他校の方々と交流を深めました。午後には、豊川稲荷の門前で募金活動を行いました。大勢で行った結果116,209円ものお金が集まりました。この金額

には、高フェスの皆さんも驚いていました。第3回目は、3月16日に行いました。これまでの2回と比べると人は少なかったにも関わらず34,614円集めることが出来ました。

豊川高校では、たくさんの部活動がボランティア活動を行っています。主な活動としては、施設の方々と交流会に軟式野球部、インターアクト部、将棋部が参加。清掃活動に登山部、卓球部、インターアクト部、文芸部が参加。ステージ発表に和太鼓部、吹奏楽部が参加。新歓フェスやBIGフェスにチアリーダー部、和太鼓部、演劇部が参加。その他、空手道部、美術部、茶華道部、ダンス部も様々な活動を行っています。ここまで多くの部活動が積極的に活動をしている学校は多くないと思います。これらの活動が地域の方々の力になればと思います。

ボランティアを通して、地域の方々と交流と繋がりを深めていき、地域の活性化に役立てることが出来たらと思っています。そして、これらの活動を豊川高校の伝統として受け継いでいくために、生徒会の方でもボランティア活動を勧めていくつもりです。

◎小坂井高校の活動発表



私たちは、他校の皆さんと比べますと、あまり多くのボランティア活動には参加することが出来ませんでした。

その分、一つ一つの活動に精一杯努力していきました。本日は、善意フェスティバル、赤い羽根共同募金、クリーン大作戦、保育園訪問のボランティア活動について報告します。

5月27日に豊橋総合動植物公園で行われた善意フェスティバルに参加しました。私たちは、豊橋鉄道さんとお手玉ダーツを、三菱レーヨンさんと自作紙ヒコーキ的入れを担当しました。自作紙ヒコーキ的入れは、子どもたちに自分で紙ヒコーキを作ってもらい、それを飛ばして得点の書かれた的を狙うというシンプルなルールでしたが、シンプルでしたが、子どもたちはとても楽しいでいました。作り方がわからない子に一つ一つ手順を説明しながら、紙ヒコーキを作っている姿は、とても真剣でした。こんなに手軽に出来る遊びで笑

顔にすることが出来るのだと思いました。善意フェスティバルの「震災復興を願い、みんなで元気にしよう」のテーマを達成できたと思います。

赤い羽根共同募金の活動をしました。私たちは、多くの方に募金してもらうために、生徒玄関前で活動をしました。最初のうちは、生徒会メンバーで固まって活動をしていました。しかし、あまり募金をしてもらえませんでした。そこで、自分たちが募金をするとしたら、どのような活動をすると良いかというのを話し合いました。その結果、大人数で活動している所より、2~3人の少人数のところの方が気軽に募金できるということがわかりました。それを実践するため、早速3人ずつに分かれて活動をしてみました。その結果、初めより多くの方々に募金してもらえました。今回の活動を通して、マニュアルだけ注目するのではなく、随時工夫していくことが必要だということを改めて学びました。

クリーン大作戦とは、毎年秋に行う、学校周辺のゴミ拾いをする活動です。毎年、多くの生徒が参加しています。自分は、生徒会役員で準備する側として参加しました。最初、予想していたより、準備に手間取ったりして大変でした。思ったより、学校の周りにはゴミが多くあり、電子レンジなど大きなものもあり驚きました。自分は、この活動は地域に貢献できていると思っています。このような活動で少しでもゴミが少なくなれば良いと思います。

小坂井高校では、将来、保育士などを目指す生徒を対象に保育園訪問を行っています。私は参加したことはありませんが、参加した生徒に話を聞いてみると、小さな子と遊ぶのは、とても楽しかったけど、喧嘩を始めた時の仲裁がとても大変だったそうです。このように、将来の仕事を体験する活動は、とても良いことだと思います。将来の職業を調べるよりも、実際に体験した方が様々な情報が手に入ると思うので、このような活動が増えていくと良いと思います。

どの活動も準備など忙しいこともありますが、とても楽しく、そして素晴らしい経験を私たちに与えてくれました。今年度の経験を活かし、来年度はより一層積極的にボランティア活動に参加して行きたいと思います。

◎交流会

例会後に“ボラン・コラボ・穂の国 7”の交流会を開催しました。

- テーマ「ボランティア活動をしてみて印象に残った出来事」
- まとめ
 - ・自主的に参加する人が少なかった
 - ・参加してもらえる状況づくりも必要
 - ・活動報告をすることで、他の人たちに興味を持ってもらえるようにする
 - ・活動に参加しているときには、人を手助け出来ているのに、日常生活では出来ていないことが多い
 - ・地域と交流できることが良いこと
 - ・子どもたちの笑顔がとても励みになる
 - ・個人参加者を増やすことが今後の課題
 - ・新しい活動を試みる
 - ・参加することで、いろんな経験をすることが出来る
 - ・良いことも、悪いことも知る機会になる



★ニコニコボックス

河本圭史会員 誕生日を祝って頂き
 金田 柁宏会員 " "
 八木敏司さん " "

クラブ目標：会員増強純増 3名
 クラブ目標：R財団寄付額 \$100/人
 現在の状況
 会員増強・・・・・・・・・・・・・・・・純増1名
 R財団寄付額・・・・・・・・・・・・・・・・\$74/人
 会報担当者：池田 弘会員、杉浦元保会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。